こざがわちょう

議会だより

第110号
平成24年 7月25日

編集発行
和歌山県
古座川町議会
TEL 0735-72-3410
FAX 0735-72-1858

七　夕　会（児童館）

平成２４年６月定例会（６月２１日～２７日）

補正予算・条例改正 …… ２～３ページ
一般質問に５議員 …… ４～８ページ
新議員の抱負、意見書 …… ９ページ
議会構成、編集委員会より …… １０ページ

２４年度補正予算・条例改正などを審議

６月定例会は、６月２１日から２７日までの７日間開催し、執行部より補正予算１１件、条例関係７件、人事案件１件、その他５件、報告３件、計２７件が提出されました。また、議員からは条例改正１件、意見書１件を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

今定例会は、補正予算を主として審議を行いました。主な議案について要約して掲載しています。

一般会計補正予算（第一号）

中学校卒業までの医療費を無料にするなど９億９５３５万円を可決

総務費

問　複合センターの冷蔵庫の購入は、どういう対応をするのか。

答　町内業者から見積もりをとり、随意契約による購入である。

民生費

問　太地の「南紀園」には、現在、町内の方が２名入所しているとの事だが、新たな入所希望者がでた時は、すぐ入所できるのか。

答　入所の必要がある方は、入所できる。

問　古座川町民が「南紀園」の職員になれるよう働きかけできないのか。

答　構成自治体である６市町村の管内の方がたを雇用対象としている。

問　高池保育所の大型遊具が老朽化のため撤去するとの事だが、新たな遊具の設置は考えていないのか。

答　保護者の皆さんや保育士さんとも相談しながら検討していきたい。

商工費

問　イベント用きぐるみを作るとの事だが、どういうデザインなのか。

答　今のところ、瀧之拝太郎のキャラクターを考えている。

土木費

問　高池地区で河川の浚渫をするとの事だが、一方で河口へ砂利の堤防が築かれている。どういう事なのか。

答　この堤防については、長い経緯の中でしている事であるが、できるだけ河口付近で堤防的な盛土はやめて欲しいと要望していきたい。

問　高池地区の浚渫については、護岸石積の底部が露出している所もあり、一体的に取り組まなければ新たな災害を招く事にもなるのではないか。

答　浚渫については、地域住民の方がたからの要望を受けて行なうものであるが、護岸の安全を確保するための工事についても状況を見ながら、河川管理者の県と協議していきたい。

問　各地区で河川護岸の崩壊が起きていて、浚渫した砂利を元の上流へ戻す事はできないのか。

答　現在、堆積砂利の一部を付近の護岸工事に充用している。

上流へ戻すことについては、県と十分相談をしたい。

問　町道の整備について、測量設計委託料を計上しているが、用地の確保はきちんとされているのか。

答　用地については、関係地権者の方から、用地承諾書をもらったうえで、測量設計にかかるものである。

消防費

問　孤立集落をなくす為に防災無線一式など、15ヵ所に配置するとの事だが、その基準は。

答　台風12号で被災にあった地域を基準にしているが、2、3年かけながら全地域を整備していきたい。

瀧之拝太郎のキャラクター

一　般　会　計　補　正　予　算　（第１号）　歳出の主なもの

目	説　　明	金　額
総務費		
財産管理費	洞尾住宅周辺の路面補修、明神生活改善センター畳表替など６件	１３０万円
財政調整基金費	平成２３年度 繰越金からの積み立て	３億円
企画調整費	ふるさとづくり基金積立金（４月に２名からの寄付）	８万円
民生費		
社会福祉総務費	県の緊急雇用創出事業で看護師か保健師を１名雇用し台風被害を受けた世帯、高齢者や障害者世帯を中心に訪問する	２１０万円
老人福祉費	老人ホーム「南紀園」改築事業の負担金（現在町内の利用者は２名）	６，９２７万円
児童福祉総務費	中学校卒業までの医療費を無料とするもの（８月１日以降）	３００万円
児童館費	児童館の図書室の雨漏れ修理費	１９万円
衛生費		
環境衛生費	高池上部、下露、平井、月野瀬 地区の生活排水路を整備	３５０万円
農林水産業費		
農地費	楠、楠平農道の舗装、補修と側溝の土砂除去費	２７０万円
山村振興対策事業費	台風１２号で被害のあった区内情報施設の改修補助金を増額	５５万円
商工費		
観光費	観光ＰＲ強化用のイベント用きぐるみ	６０万円
土木費		
道路維持費	平井、池野山、松根地内の町道改良費	３００万円
河川維持費	山手地区河川維持工事、高池地区の推積土砂撤去工事	６６０万円
消防費		
消防施設費	平井地区大原平の水源地管理道の手すり整備（９３ｍ）	４０万円
〃	西川地区 消防車庫の新築工事費	２８８万円
災害対策費	高瀬、潤野、古座中体育館裏の避難候補地の測量業務	４３４万円
〃	潤野地区 避難地の整備工事	２５５万円
〃	災害時の孤立集落対策用備品購入（１５ヵ所に配備）	８２９万円
災害復旧費		
林道災害復旧費	松根小森川線、将軍川線の２ヵ所	１，５００万円
〃	台風１２号災害復旧工事の増額　３路線	４，０７３万円

条例改正

古座川町印鑑の登録及び証明に関する条例

住民基本台帳法の改正により、外国人住民が新たに適用対象に加わる。

古座川町福祉医療費支給に関する条例

子ども医療制度の拡充として、小学校入学までの医療費の無料化を、中学校卒業するまでに拡げる。

人事案件

教育委員に嶋原和夫氏の選任に同意

嶋原和夫氏は、昭和26年生、住所は明神、任期３年10カ月。

一般質問
みんなの願いを町政に

高池地区にも送迎バスを走らせよ

日下　博規

私が議員になって最初に「診療所へ送迎バスを走らせては」と質問したのは、平成３年６月議会のことだった。

診療所まで歩くのがつらいというお年寄りの方がたの声。

また診療所の先生の「いま診療所へこれるお年寄りは、少し身体の調子の悪い比較的元気な方。それより悪くなると診療所へこれずに家で辛抱している。もっと悪くなると古座川病院へ入院する。何とかならないだろうか」という声がきっかけだった。

その後、七川地区では七川区長会で独自に七川診療所への送迎を始めたが、三尾川、明神、小川地区で診療所への送迎が始まったのは、最初の質問から約15年後の奥根町長の時代になってからだった。

しかしこのときでも高池地区だけは、比較的便利だからという理由で実現せず、取り残されてしまった。

選挙戦の中で、あるお年寄りの方から、高池地区でも診療所への送迎をおこなってほしいとの強い要望があり、日頃どのようにしているのか聞いたところ、その方は「明神診療所へ、娘さんがたまに帰ってきた時に連れて行ってもらうか、それ以外のときは近所の人に送ってもらっている。

月野瀬地区や宇津木地区、池野山地区ではバス路線まで遠く、車に乗れない人にとっては奥の人達とそんなに条件的に変わるわけではない。

私たちも三尾川や明神地区の人達と同じように、診療所への送迎を町でおこなってもらえないだろうか」という切実な願いであった。

七川では福祉号を購入しているが、三尾川、明神、小川地区はスクールバスを活用している。

高池小学校にはスクールバスがなく、またどの医療機関への送迎にするかなど検討すべき課題はあるが、ぜひ実現してお年寄りの皆さんの要望にこたえていただきたい。

町長

診療所への送迎バスの運行について、過疎高齢化の地域社会において高齢者のみなさん、とくに車に乗れない方の診療所への送迎は大変重要な取り組みのひとつと考える。

現在七川診療所へは、町からの補助により七川区長会が福祉号を運行しており、年間延べ１２００人の送迎をおこなっている。

三尾川診療所、明神診療所へはスクールバスがデマンド方式により運行をおこなっており、明神診療所には約１００人、三尾川診療所には約６００人が利用している。

小川及び田川診療所には、社会福祉協議会により約60人の送迎をおこなっており、町全体では年間延べ２０００人近い方の送迎をおこなっている。

平成24年度からは社会福祉協議会に送迎スタッフを置き、診療所以外にも特定健診の送迎や筋トレ・脳トレなどの保健師との連携による健康活動への送迎もおこなっており、きめ細かい送迎体制の強化に努めている。

高池地区においても当然、他の地区と同様に送迎を希望される方がいれば、社会福祉協議会でおこなっているデマンド方式で、明神診療所への送迎をおこないたい。

（この文章は本人がまとめたものです。）

※デマンドとは予約のこと。

社会福祉協議会による送迎（小川）

林業の将来の展望はいかに

廣畑　幹朗

昨今の林業不況は、非常に厳しい状況である。

林道・作業道が通っているところで、わずかな収益が見込める程度で、架線での出材になると、採算がとれない状況のようだ。

古座川町は、全域に亘って、広大な人工林で占められているが、将来資源として活用できるのか。

先代の方がたが、汗と涙で育てあげてきた見渡す限りの山林が、適正な評価を受けることができるのか。

林業の将来の展望について、町長の見解を伺う。

町長

当町の主産業である林業の状況は厳しい。

七川奥地の山林（松根）

杉・桧の並材は、市場に出荷しても採算が取れない。

しかし高齢級の優良材は有利に取引されている。

今後の方法として、拔期齢の見直しをおこない、80年・100年の高齢級の木材の出荷を目指せば、将来、木材資源として十分活用できるのではないか。

このため、長伐期施業にあう間伐や枝打ちを計画的に導入し、造林事業・治山事業等の補助事業を受入れ、生産目的に見合う森林整備を進め、価格の安定と労働力の確保等、機能の高い森林の整備に繋げたい。

南紀森林組合には、高性能林業機械が整備されているので、林道・作業道の整備と機械化林業との組み合わせにより、木材生産の低コスト化を図り、安定した供給体制の整備を目指す。

質問

先のことですが、高齢級の優良材であっても生産過剰の恐れはないか。

町民の高齢化の中で、計画的な長伐期施業の実施に、作業員の確保が厳しくなるのではないか。

産業振興課長

今後、木材の消費量が増えるとか価格が上がる見通しはないので、山林所有者を集約化して、団地化を図り低コスト林業を進める。

作業員の高齢化については、森林組合の作業班に比較的若い方がたが30名ほどおられるので、森林組合を中心に対応していきたい。

町内道路網の整備を問う

①国道371号の整備改修で、真砂・佐田・平井までの計画。

②県道那智勝浦古座川線の改修予定。

③県道古座川熊野川線の改修予定。

④町道下露小川線の改修予定。

について伺う。

町長

国道371号大川・真砂間、約4kmの改修については、平成22年度から29年度で、約18億円の計画である。平成24年度事業は、県予算で5億円計上、用地買収、一部工事着手の予定である。

真砂・平井間は、平成22年度から27年度で、全体事業費約3億円を予定。延長約1kmで狭隘箇所の局部改修を随時おこなう。

県道那智勝浦古座川線は、平成21年度から27年度で、全体事業費36億円、予定改良延長1330m。

平成24年度事業は県予算3億円で、用地買収とトンネル周辺工事を予定している。

県道古座川熊野川線の全体事業費は約2億円で、狭隘箇所の局部改修をおこなう。

平成24年度は県予算4000万円で、西川地内の改修工事、下露地内の用地買収を予定している。

町道下露小川線改修計画は、平成14年度から23年度で、工事費約6億円で橋梁2基、狭隘箇所1100mの改修を実施した。

今後も狭隘箇所を中心に、用地確保ができたところから随時改良をおこない、町内道路網の整備を進めていく。

質問

町道下露小川線について、大桑の残土処理場まで大型車の乗り入れは出来るのか。

国道371号大川・佐田間は2車線になるのか。佐田・平井間の幅員はどうなるのか。

建設課長

大桑地内の土捨て場への進入路は、山手地区で県が代行して町道・林道の改修をおこなっている。

残土処理場は、10月頃の構築となる。

国道371号の改良は、湯の花橋まで2車線で要望している。平井までは、1・5車線である。

（この文章は本人がまとめたものです）

町職員と若者の町外流失対策は

谷　久司

昨年の台風12号の洪水被害以来、町職員の少なくても3名が串本町上野山に転出したと聞いたが事実かお聞きしたい。

なぜ、町民を放り出して町外に逃げ出せるのか。

私はこの話を聞き、町幹部や町長にも現状では職員の転出を止めるすべの無い事も説明しましたが、この地域でしがみついて一生懸命仕事し、税金を納めている、その町民の税金で雇われていると言っても過言ではない、町職員の倫理感はどうなっているのか、強固な意見もあります。

緊急に宅地造成してはどうか

町長に提案します。早急に20戸から30戸建設出来る宅地を造成して、町職員や若い人達が住居を構えられる用地を確保してはどうか。

町長

川口地区に住宅地と、町営住宅の建設を進めてきましたが、昨年の浸水被害により造成計画の変更余儀なくなり、現在川口区と協議中でありますが、浸水被害のなかった地域への町営住宅の建設も検討したい。

県道田原古座線に水道管敷設を

もう一つの提案として、県道田原古座線の池野山地区に水道管敷設はどうか。

昨年の浸水被害以来、三尾川から下流域の平地に宅地を購入し、住居を構えたいと考える方は皆無に等しいと思いますが、町職員とは言え逃げ出したい気持ちは理解できますが、このまま指を咥えてみているわけにはいきません。

町内下流域で水害被害と津波に強いと見られる池野山地区の望月橋から池野頭にかけての県道田原古座線に池野山水道の送水管が敷設されていないので、送水管を敷設してはどうか。

町長

池野山地区として住宅建設の要望があるのなら検討したい。

県道田原古座線（池野山）

危機管理上の避難地と避難路を確保せよ

古座中学校上流の避難路の設置は

古座中学校上流の避難路については未だに目処が立っていないのが現状であり、用地が難しいのは理解していますが、この里道の利用を避けて避難路を設置するか。

この里道がどうしても必要と考えるなら、自主防災組織や高池下部区に任すのではなく、里道管理の責任者である町がその解決に当り、早急に解決する必要が有ると考えるが。

町長

用地、工法とも難しさもあり苦慮していますが、避難路の整備は必要と考えています。

明神地区の避難場所の確保は

明神地区の川口区、下仲の穴谷住宅裏、下仲の前田氏宅裏山、一雨の作業道柳小北山谷線の作業道を整備舗装すれば直ぐにも車や作業車の退避が可能になりますが、とくにこの地区には小学校、中学校があり車両の数も多くありますが、早急に避難場所として確保してはどうか。

町長

明神地区には避難場所は必要と考えて現在川口、明神、一雨、直見地区は各区長さんと適地を検討しているところです。

（この文章は本人がまとめたものです。）

産業振興の体制強化を

大屋　一成

24年度の各課の体制を見ると、課長補佐、係長がいない課は産業振興課長以下6名の職員と2名の臨時職員が産業振興の各種業務に取り組んでいる。

業務は多岐にわたるため、各職員は複数の業務を持たざるを得ない状況である。

職員はすべてが何らかの形で地場産業振興業務に携わっていて、各課はそれぞれの業務に応じ適正に配置している。

推奨3品目は、3品とも30年以上栽培されていて、それぞれの出荷時期が重ならない事から、この3品目をうまく組み合わせて複合経営で収入を安定させることが可能であることから、推奨する基本的な目標としている。

いずれの産品についても生産者の高齢化で栽培の継続が困難となり、生産量の減少が危惧されるが、継承されてきた地場産業の維持、振興に努めることが必要と考えている。

優良品種のシキミ（月野瀬）

続き推奨3品目として生産の奨励に努めていくと言われているが、町が取り組んでいく上で、どういう目的やビジョンを持っているのか。

町長

古座川町の将来を担う地場産業振興のための体制を強化すべきという意見だが、産業振興課は課だけである。

地場産業の振興には、町の将来がかかっていると言っても過言ではない。

体制を強化すべきではないか。

また町長は、ユズ・シキミ・千両について引き続き推奨3品目として生産の奨励に努めていくと言われているが、町が取り組んでいく上で、どういう目的やビジョンを持っているのか。

町長

古座川町の将来を担う地場産業振興のための体制を強化すべきという意見だが、産業振興課は課だけである。

地場産業の振興には、町の将来がかかっていると言っても過言ではない。

体制を強化すべきではないか。

また町長は、ユズ・シキミ・千両について引き続き推奨3品目として生産の奨励に努めていくと言われているが、町が取り組んでいく上で、どういう目的やビジョンを持っているのか。

町長

古座川町の将来を担う地場産業振興のための体制を強化すべきという意見だが、産業振興課は課長以下6名の職員と2名の臨時職員が産業振興の各種業務に取り組んでいる。

業務は多岐にわたるため、各職員は複数の業務を持たざるを得ない状況である。

職員はすべてが何らかの形で地場産業振興業務に携わっていて、各課はそれぞれの業務に応じ適正に配置している。

推奨3品目は、3品とも30年以上栽培されていて、それぞれの出荷時期が重ならない事から、この3品目をうまく組み合わせて複合経営で収入を安定させることが可能であることから、推奨する基本的な目標としている。

いずれの産品についても生産者の高齢化で栽培の継続が困難となり、生産量の減少が危惧されるが、継承されてきた地場産業の維持、振興に努めることが必要と考えている。

質問

課長以下6名の職員と2名の臨時職員は、一生懸命仕事をしてくれていると思う。

しかし、各自の持っている業務が多く、古座川の5年先、10年先を見据えた計画、ビジョンが出来ていないのではないか。

有名な島根県の海士町は14名の方がたが、古座川町の産業振興課でしている業務に携わっている。

そういう体制で、活力ある町づくりに成果を挙げているのではないか。

現在の職員が、一生懸命頑張ってくれているのは分かっている。

働く場所や収入源がなかったら古座川町の将来的な展望は望めない。

ビジョンを持って取り組んでいただきたい。

町長

議員が話しているように産業というのは、一朝一夕にやるものではなく、10年先、20年先を見据えた施策が必要であると思う。

ただ、各課への人員配置については4年間、毎年臨時職員も含めた全職員に面接をおこない、希望を聞きながらそれぞれの適切な場所、仕事は何であるかということを私なりに十分把握した上で人事配置をおこなっている。

現在、産業振興課の配置は、課長、専門員以外は全部若手であるが、台風12号の対応では、どこの町よりいち早く農業機械や商工業等に対する補助の新規事業の作成を、課長を中心に若手職員が組み上げた。

県の方からも非常に高い評価を受けている。

若い職員は非常に積極的に自分の仕事や古座川町全体のことに必死に取り組んでいる。

ほかの課と比べて、課長補佐や係長がいないからといって劣るものではないと考えている。

また島根県の海士町は非常に産業基盤がしっかりしている町で、海産物、畜産物、水田にしても1反から2反といった規模の水田がいたる所に集団的にある。

そういった事から、海士町は産業に力を入れて取り組んでいると聞いている。

所信表明でも申し上げたが、幾つか沢山の課題が山積みしており一つひとつ解決していきたい。

（この文章は本人がまとめたものです。）

優良品種の千両（月野瀬）

どう進めるのか 二期目の町政を

山地　理平

武田町長、この度の町長選挙での勝利おめでとう。しかし結果は予想に反するものだった。

ここにその資料を示し寄せる情熱と成果を十二分に認める私にとって、周囲の期待を覆したような得票数に「何故だ」との疑念を抱いた。

たけだ町長候補の街頭演説

さらに今回の選挙結果を見て、町長の感想をお聞きしたい。

町長

安心して住める町に

これからも安心して住み、安心して暮らせる「ふるさと古座川」の町づくりを基本に、次の施策を推進する。

○健全な財政運営
○災害に強い町
○高齢化対策と子育てしやすい町
○地場産業の振興
○清流古座川と自然環境の保全と活用

その他、取組まなければならない課題は山積しているが、町民とともにこれらの課題に着実に取組んでいく。

選挙とは厳しいもの

選挙結果は厳しいものであった。施策の評価は各世代に十分浸透し、理解されていたとは言いがたいのではないか。

施策や行政の評価が十分であっても、選挙とは異なるものだ。

たが、今回の選挙は、町行政に関する経験は皆無で知名度も無に等しかった前回に比べ、洪水被害への懸命の対応はもちろん、過去四年間の町政に信表明で二期目の町政を如何に進めるか、その基本的な構想を述べられたが、改めて披瀝して頂けないか。

本議会冒頭、町長は所

平成24年　古座川町長選挙結果

種別	平成24年6月3日	平成20年6月15日
当日有権者	2,771	2,988
投票者	2,461	2,664
投票率	88.81%	89.16%

候補者	得票数	得票率	得票数	得票率
たけだ丈夫	1,277	51.89%	1,370	51.43%
西前けいいち	1,141	46.36%	1,242	46.62%
票差	136		128	

鳥獣害対策のリーダーたれ

故宮石勘蔵元古座川町長の「町村長一万日の歩み」の著作の中で、山村振興運動にかけた情熱と行動の叙述に深く感銘を受けたが、昨今、全国の山村は鳥獣害に悲鳴をあげている。

ここで町長は宮石先輩を見習って、その対策のリーダーになって頂けないだろうか。

町長

私は新宮東牟婁郡内の鳥獣害対策協議会会長の立場から、近隣町村との連携を進め、被害防止について効果的な方法を見いだし、国・県に働きかけていきたい。

林業は壊滅状態だ 町民の生きる道は

昔から林業で生きて来た古座川町、その林業は今や「壊滅状態寸前」の厳しい状況にある。

この古座川町で林業がだめなら「一体、何で食べていけばいいのか」将来は真っ暗だ。

町長は県庁では林務一筋に生きて来られたが、改めてこの場で町長の所信を聞かせて頂きたい。

町長

地元森林組合と連携を密にし、低コスト林業の推進により、林家の収入が得られる仕組みを講じる必要がある。

（この文章は本人がまとめたものです。）

間伐作業に勤しむ人びと

新議員の抱負

命と暮らしを守る町政を目指して

坂本　卓巳（高　池）

今回、皆様方の暖かいご支援により古座川町議会議員に当選させて頂き心から感謝申し上げます。

「皆様の命と暮らしを守る町政」をスローガンに、大地震による津波に備え、避難所や避難道の整備を早急にしなければなりません。

まず防災対策の強化を重点に、安心で安全な町、より住みやすい町へと町民の皆様のために働きたいと思っています。

少子化対策、教育、福祉等の今後の課題の一つひとつに力を注いでいく所存です。

何分、新人ですので皆様のご意見やご指導を頂きながら努力していきたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

意見書

「非核三原則の早期法制化を求める意見書」は全員異議なく採択し、6月28日付けで、国の関係機関に送付しました。

広島・長崎の原爆被爆から66年が経ちました。

「ふたたび被爆者をつくるな」という原爆被害者の悲痛の願いをはじめとして、わが国の「非核三原則」を国是とする核兵器反対の政策は、世界中の国々、国民を動かして、いくどとなく訪れた核兵器使用の危機を防いできました。

今、核兵器廃絶をめざす潮流は、さらにその流れを強めています。

核兵器を使用した唯一の国であるアメリカのオバマ大統領が「核兵器のない世界」を追求していくことを明言しました。

今こそ日本は、核戦争唯一の被害国として、核兵器廃絶に向けた主導的役割を果たすべきときです。

そのためにも「非核三原則」を国是としてかかげるだけでなく、その法制化を早期にはかることによって、国際的な世論のリーダー役としての明確な意見を示すことができると信じます。

よって、国会及び政府におかれましては、被爆国日本として世界の諸国、諸国民からかけられている期待の大きさを踏まえて、「非核三原則」の法制化の決断を早期に決断されることを要請します。

【意見書提出先】
内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長

初心を忘れず

上地　薫（添野川）

この度、町内の皆様の暖かいご支援により、当選させて頂き、誠にありがとうございました。

さて、人間は「忘れる生き物」です。

4年前の落選のくやしさを忘れず、また今回の当選のうれしさを忘れず、そして皆様のお宅へお配りした私の基本政策を忘れず日々議員としての自覚と情熱を忘れずに行動します。

私を支持してくれる人からは「遠慮せんとどんどん言えよ」とエールを送ってもらいました。

私に期待をしている方の言い分を理解し、型にはめられぬ様悪い事は悪い、良い事には拍手をできる議員を目指します。

また皆様のお宅を回っていきますので話をお聞かせ下さい。お願いします。

みんなが集まる古座川に

尾崎やよい（松　根）

この度は皆様の温かいご支援のもと、おかげさまで初当選をさせていただく事ができ、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

○今私達の出来ることの第一歩。

一、みんなで町政に参加しての町づくり。

○今すぐ取り掛らなければならない事。

一、生活密着型の交通網の整備「低料金のタクシーで自由に出掛けることができる」。

○命を守る、災害に強い町にする事。

一、山の整備と保全と活用これらを連携させ、雇用の促進→生活の安定→充実→今まで古座川町を築き上げ守って来て下さった方がたに、寄り添っている若い方達で賑わう古座川町→住んでみたい古座川町「みんなが集まる古座川」となるよう精一杯尽くします。

どうぞお気軽に声をかけて下さい。一緒に古座川町を輝かせましょう。

そして、次世代の子供達に胸をはって繋げましょう。お願い致します。

新しい議会がスタート

７月４日、第１回臨時会（一般選挙後の初議会）が開かれ、正・副議長の選挙、各常任委員、その他の委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、監査委員（議会選出）の選任等が行われました。

新しい議会構成は次のとおりです。（敬称略）

議　長　矢本　和久

副議長　瀧口　定延

正副議長の選挙は投票によりおこない、選挙の結果、議長は矢本和久が、副議長には瀧口定延が当選しました。

議長の矢本和久は再当選、副議長の瀧口定延は二回目の当選となります。

監査委員

新屋　常夫

議員の任期満了に伴う議会選出の監査委員に、新屋常夫を選任することに満場一致で同意しました。

常任委員会

総務委員会は、社会福祉、環境衛生、消防、財務、教育などを所管し、産業建設委員会は、農林水産、商工観光、建設などを所管します。

議会運営委員会は、議会の会期日程など議会運営に関する事を所掌します。

総務常任委員会

委員長　日下　博規
副委員長　瀧口　定延
委　員　坂本　卓巳
　　矢本　和久
　　上地　薫
　　尾崎やよい
　　宮本　進

産業建設常任委員会

委員長　谷　久司
副委員長　新屋　常夫
委　員　坂本　卓巳
　　大屋　一成
　　瀧口　定延
　　上地　薫
　　宮本　進

議会運営委員会

委員長　大屋　一成
副委員長　新屋　常夫
委　員　谷　久司
　　尾崎やよい
　　日下　博規

議会だより編集委員会

委員長　日下　博規
副委員長　大屋　一成
委　員　坂本　卓巳
　　瀧口　定延

一部事務組合議会とその選出議員

一部事務組合とは、２以上の市町村が、事務の一部を共同で処理するために設ける特別地方公共団体。

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員

尾崎やよい

串本町古座川町衛生施設事務組合議会議員

大屋　一成
谷　久司
宮本　進

議会だより編集委員会

編集委員会より

町長と議員の同時選挙が終って最初の議会。

今後の４年間の、５つの重点施策を熱っぽく語る町長の所信表明を、６月29日までしか任期のない旧議員が聞くという、異和感を感じつつ６月議会を終えました。

４年前に経費削減を理由にしておこなわれた町長・議員の同時選挙。

これでよかったのかなという４年前には感じなかった思いがするのは、新旧の入れ替わりが大きかったからなのかもしれません。

３名の新人議員を含め、新しい議会の構成も決まり、議員一人ひとりの思いはそれぞれであっても、町に横たわる課題に全力で取り組んでいく決意は変わらないはず。

こうした議会の様子をわかりやすくお伝えすべく、新しく選出された私たち４名の編集委員は、町民の皆様方のご感想やご意見を頂戴しながら、よりいっそう読みやすい紙面づくりに頑張ります。

（日下博規）